

議会報告会実施報告書

開催日時	平成 29 年 11 月 6 日（月） 19 時 00 分 ～ 20 時 40 分
開催場所	農村交流館
出席議員	溝口孝、黒木高広、三樹喜久代、友石 司、松葉進一
参加市民数	9 人
実施内容	1. 開会（司会：三樹喜久代 議員） 2. あいさつ（班長： 溝口孝 議員） 3. 開催地区区長代表あいさつ（奥野区 奈須区長） 4. 議員自己紹介 5. 市議会報告（友石司 議員） 6. 質疑、応答、意見交換 7. 閉会
質問 意見・要望等	1 質問 質問：本年の防災の避難マップは作成しているのか。 回答：市が作成中であるが、早急に作成するよう要望している。 以前の資料等は防災推進課に用意しているので貰って欲しい。 質問：新庁舎の進捗状況の説明は受けているのか。進捗状況を議会だよりに掲載したことはあるか。 回答：掲載はしていないが、議会開会中は説明を受け、現地視察をしている。 質問：新庁舎で机等の備品を全て新品にするのか。 回答：現在ある備品の 60% を使用する。 質問：林業大学校はどこになるのか。県北につくる予定はあるか。 回答：本市に誘致を要望しているが、どこになるかは未定。 質問：議員報酬、定数について早急に回答を出すべきではないか。 回答：今の段階では考えていない。 質問：日向高校は避難所となっていない。非常の時は、対応できるように出来ないか。 回答：日向高校は一時避難所になっている。 質問：日向市議員の定数は。各委員会で視察に行った人数は。一泊での費用は。政務活動費について。 回答：定数は 22 名。視察人数は各委員会で 7 名。宿泊費用関係は日向市職員等の旅費に関する条例の定めによる。 政務活動費は政務活動費に関する条例に基づき行っている。 2 意見・要望 要望：市街化調整区域を見直して、地域格差をなくして欲しい。 また、農村地域で農業者が減っている。後継者がいなくなっている現状を把握して、早急に対応して欲しい。

	婚活の促進も図って欲しい。 回答：調整区域は5年ごとに見直しをするようになっている。見直しを市長に伝える。 要望：太陽光発電施設の建設について、地元住民とのトラブルが絶えない。議員からの条例作成を強く要望する。議員は実情をしっかりと見て対応して欲しい。 回答：住民の皆さんが、納得するように行政は業者に対して指導している。 要望：市道の奥野入口の場所の配水管が小さく、台風時に浸水し、死亡事故が発生しそうになった。3年前から市に相談しているが、実現していない。配水管を90cmから150cmの入れ替えを早急にして欲しい。 回答：担当課に伝える。 要望：塩見川に砂利が溜まる。河川改修をして欲しい。 回答：担当課に伝える。 3 その他 ・陳情での回答の、趣旨選択とは何か。 ・PFI とは何か。 との質問に対し、詳細な説明を行った。
その他 特記事項	・林業大学校：〔報告会后〕県は2019年4月に設置する方針を固め、開設場所は美郷町県林業支援センターを軸に調整し、本年度中に決定すると示した。

平成 29 年 11 月 6 日

日向市議会議長 甲斐敏彦 様

第1班 班長 溝口 孝 

議会報告会実施報告書

開催日時	平成 29 年 11 月 7 日（火）19 時 00 分 ～ 20 時 20 分
開催場所	五十猛神社社務所
出席議員	溝口 孝、黒木高広、三樹喜久代、友石 司、松葉進一
参加市民数	7 人
実施内容	1. 開会（司会：三樹喜久代 議員） 2. あいさつ（班長：溝口孝 議員） 3. 開催地区区長代表あいさつ（川路区 三宅区長） 4. 議員自己紹介 5. 市議会報告（友石司 議員） 6. 質疑、応答、意見交換 7. 閉会
質問 意見・要望等	1 質問 質問：トライアルの耐震はどうか。 回答：建物は古い。移転の情報はあったが断ち切れている。 質問：下水道の加入率向上のための取り組みはどうしているのか。 回答：担当課としても努力している。 質問：細島地区は住宅が密集しているが、火災災害については大丈夫か。 回答：まちづくり協議会、消防団で避難マップを作成して、共助で頑張っている。 質問：議員は市長に意見を出しているが、方向性だけでなく、具体的なものは何か。 回答：工業団地が埋まってしまっているので、内陸型の工業団地を造成する検討に入っている。公約については、明確に進めてもらいたいと思っている。 質問：細島小学校は、複合化が検討されているが状況の推移はどうか。 回答：複合化の施設の内容は決定していないが、今のところ細島小学校、細島支所、公民館、コミュニティセンターが検討されている。地域の防災拠点としての位置づけもある。 質問：財光寺での議会報告会の出席者は、今まで 3 名～12 名ほどだった。こういう状態でも継続していくのか。 議会だよりに掲載していた市民懇談会は開催されたのか。 回答：報告会は継続していく。内容についても再検討している。先月、100 人委員会と意見交換会をした。市民との距離も縮まっていると思う。 質問：日向市にも他の自治体から視察は来るのか。 回答：年間 20 団体が来ている。小中一貫校、区画整理の視察などがある。 質問：監査委員は何人いるのか。民間の公認会計士などの採用はどうか。 回答：2 名。採用していない。

	質問：今後、人口減による学校の統廃合はあるのか。 回答：将来、統廃合は検討課題になるのではないか。 [報告会後の確認事項] 津波などの災害を受けることが予想される学校なども含め、小中一貫教育とも合わせて検討していく。 質問：防災放送の規定はあるのか。 回答：防災の避難訓練等であれば、使用してもよいことになっている。 2 意見・要望 要望：今回の選挙で、「台風が近づいているので、期日前投票をして欲しい」との放送がされた。場所をはっきりと伝えるなどの放送のあり方を工夫して欲しい。 回答：担当課に要望を伝える。 要望：議会報告会で、視察についての感想を記入して欲しい。 回答：検討する。 3 その他
その他 特記事項	

平成 29 年 11 月 7 日

日向市議会議長 甲斐敏彦 様

第 1 班 班長 溝口 孝 

議会報告会実施報告書

開催日時	平成 29 年 11 月 13 日 (月) 19 時 00 分 ～ 20 時 30 分
開催場所	東郷公民館 (さくら館)
出席議員	溝口孝、黒木高広、三樹喜久代、友石司、松葉進一
参加市民数	30 人
実施内容	1. 開会 (司会: 三樹喜久代 議員) 2. あいさつ (班長: 溝口孝 議員) 3. 開催地区区長代表あいさつ (福瀬区 新名区長) 4. 議員自己紹介 5. 市議会報告 (友石司 議員) 6. 質疑、応答、意見交換 7. 閉会
質問 意見・要望等	1 質問 質問: 東郷地区に、急傾斜危険地域が 260 箇所あるが、どのような調査をし、どう対応していくのか。 回答: 現地調査計画が台風等で出来なかった。11 月 22 日に調査予定。 質問: 保育所等の防災対策はどういう状況で進んでいるのか。 回答: 急傾斜危険地域の付近に保育所があれば、対策について話し合うことにしている。場所等を連絡して欲しい。 質問: 議員の定数と、報酬内容について聞きたい。 回答: 議会改革委員会で方向性を議論していく。 質問: まちづくり協議会で、補助が減額されてきている。自主財源を求めるように指示があるが、マンパワーが不足しているので財源確保が進まない。今後どうバックアップしてくれるのか。 回答: まちづくり協議会も道半ばであるのは承知している。地域が知恵を絞って取り組んで欲しい。 質問: 鳥獣被害対策の補助などがカットされつつある。他県 (愛媛県) では、予算は削減しないと言っている。日向市はどうか。 回答: 予算は計上しているが、厳しい状況にある。防護柵は東郷地区が一番進んでいる。県の補助なので要望していく。 質問: 猟友会も高齢化していて、隊員が減ってきている。被害は増えるばかりである。日向市の捕獲奨励金は 8,000 円/頭だが、美郷町は 10,000 円/頭である。行政の取り組みが弱いのではないか。議員から被害についての取り組みを要望して欲しい。 回答: 予算の関係もあり、対策などになかなか対応ができないのが現状である。議会から強く要望していく。 質問: 杉の幼木保護のために、鳥獣被害の抜本的な対策を講じて欲しい。 回答: 昨年も同様な意見が出された。市に要望しているが今回も又、要望していく。

質問：世界ジュニアサーフィン選手権は大きな予算を計上していたが、効果はあったのか。

回答：詳細な費用対効果はまだ出ていない。

質問：東郷地区は、市内でも高齢化が非常に進んでいる。高齢化対策については。

回答：移住定住の促進や、子育てヘルシー事業等を主体に、また、高齢化対策にも取り組んでいる。

2 意見・要望

要望：山津波の災害が出ている。鳥川地区は対策に10年かかったが、議員の力で早めの対策をして欲しい。

回答：要望に応えられない現状であるが、県の事業なので市としても、優先順位を上げて要望していく。

要望：先の台風で被害の出た箇所を早急に取り組んで欲しい。完成の見通しが立っていない。

回答：県の対応であるが要望する。11月22日に現地調査するので場所を教えてください。

要望：災害等で、土砂が堆積している。川底を上げて欲しい。

回答：県の管理下にあるが、緊急なものであれば、区から市に要望して欲しい。

要望：東郷学園前に、歩道橋を設置して欲しい。

回答：国交省や公安委員会との関係もあるので調べてみる。

要望：東郷病院では雨漏りがしている。対策はどうなっているか。

回答：改築する方向で進んでいるが、入院体制が整った時点で、検討される。

要望：福瀬地区の交通手段で、ぷらっとバスを提案しているが、何も解決していない。ぷらっとバスを何とか通して欲しい。

回答：前回も話がでた。宮交との絡みがあるので難しい。

要望：デマンドバスの利用方法がわからない。

回答：東郷地区は山陰タクシーに委託している。利用については、電話予約で受け付けている。交通弱者対策を行政に伝える。日向、入郷地区の行政が弱者対策として、将来は交通ネットワークを作っていくと思う。

要望：他の地区の議会報告会の主な点を報告して欲しい。

回答：大まかな点を調整会議に諮り、議会だよりで報告するようにしたい。

3 その他

オープンデータとは何かとの質問に対し、詳細を説明した。

その他 特記事項	・台風災害の2件については、その後、総合防災特別委員会が現地視察をした。 要望事項 ・道の駅とうごうのバス停が不便で移動をお願いしたい。
---------------------	---

平成 29 年 11 月 13 日

日向市議会議長 甲斐敏彦 様

第 1 班 班長 溝口 孝



印

議会報告会実施報告書

開催日時	平成 29 年 11 月 6 日 (月) 19 時 00 分 ～ 20 時 30 分
開催場所	堀一方公民館
出席議員	木田吉信、柏田公和、若杉盛二、富井寿一
参加市民数	6 人
実施内容	1. 開会 (司会：若杉盛二 議員) 2. あいさつ (班長：木田吉信 議員) 3. 開催地区区長代表あいさつ (堀一方区 岡田区長) 4. 議員自己紹介 5. 市議会報告 (柏田公和 議員) 6. 質疑、応答、意見交換 7. 閉会
質問 意見・要望等	1 質問 質問：地域包括支援センターと社会福祉協議会の業務が多忙化しているので、十分に議会としても理解をしていただき今後も活動をしていただきたい。 回答：現在、文教福祉環境常任委員会が市内 6 ヶ所の包括支援センターに出向き、現場の状況を確認しているところである。社会福祉協議会とも今後意見交換を行う予定にしている。 質問：地域包括ケアシステム構築に向けて国から方針が出ているが、まずは市民が介護保険制度について知ることが大事ではないかと思う。 回答：包括支援センターが地域の皆さんに周知する活動は行っているが、区長や民生委員などへの周知でまだまだ地域の方へは伝わっていないと感じている。改めて丁寧に行っていく必要は感じている。 質問：サンドーム近くの避難山の進捗状況について教えていただきたい。 回答：県森連の土地を市が買収し、現在実施設計が始まっている。まずは周りの整備を行い、その後盛土をして避難山を作っていくことになっている。 質問：議会改革が進んで成果を上げているとあったがどのあたりが進んでいるのか教えていただきたい。 回答：当市議会は議会改革としては進んでいた。今回、議会基本条例の策定などによって全国 73 位という評価を受けたと思う。 質問：公共施設について老朽化が進んでいるというが例えばどのような状況なのか教えていただきたい。 回答：建物とインフラを維持していくとなると約 45 億円かかる。平成 28 年に日向市が施設カルテを作成している。今後、施設などの状況について説明会など行われていくと思うので是非参加をしてほしい。

	2 意見・要望 要望：京都府にできている林業大学校について、特に日向・入郷地区は林業が盛んな地域である。当学校に通った子が、技術習得するなど非常に良いと思うので、林業大学校の設置を強く要望したい。 要望：医師の高齢化による救急医療について不安があるので、今後は対応していただきたい。 要望：勉強が出来る子と出来ない子がはっきりしているように思う。何所に問題があるのかわからない（学校なのか地域なのか）が、市の予算の範囲でその辺りにも力を入れていただきたい。 要望：日本全体的なことになるが人口減少の対策を早急に行うべきなので宜しく願いしたい。 要望：区が担う役割が大きくなってきている。そんな中、区に加入する住民が少ないので何かしらの対策をとっていただくと有難い。 意見：議会だよりが非常に見やすくなっているので、このまま進めていただければ良いと思う。 3 その他
その他 特記事項	【班対応事項】 なし 【議会对応事項】 なし

平成 29 年 11 月 6 日

日向市議会議長 甲斐敏彦 様

第 2 班 班長

木田 吉信



議会報告会実施報告書

開催日時	平成 29 年 11 月 7 日 (火) 19 時 00 分 ～ 20 時 25 分
開催場所	本谷公民館
出席議員	木田吉信、若杉盛二、富井寿一、柏田公和
参加市民数	28 人
実施内容	1. 開会 (司会：富井寿一 議員) 2. あいさつ (班長：木田吉信 議員) 3. 開催地区区長代表あいさつ (本谷区 河野区長) 4. 議員自己紹介 5. 市議会報告 (若杉盛二 議員) 6. 質疑、応答、意見交換 7. 閉会
質問 意見・要望等	1 質問 質問：議会報告会を行う根拠は何か。 回答：開かれた議会を目指し、市民への説明責任があると認識している。 質問：議会改革審議の内容は。 回答：現在議論中である。来年 3 月には内容を提案したい。 質問：総合防災委員会での水害対策の取り組み現状は。 回答：防災委員会では、地震・津波対策を優先して行った。水害については担当課が復旧対策等手早く実施しているので、委員会では本格的な議論はしていない。 質問：急傾斜危険個所の実態把握はどうか。 回答：11 月 22 日に防災特別委員会で現地を視察する。 質問：林業大学校開設の現況は。 回答：31 年に開校するとの事だが、詳細な情報は流れていない。 [その後の進捗] 県は、2019 年 4 月に設置する方針を固め、設置場所は美郷町県林業技術センターを軸に調整し、本年度中に決定すると示した。 質問：防災無線の音声聞こえない。対策は。 回答：聞こえないケースがあるのは承知している。テレホンサービスを利用してほしい。 質問：防災無線の音声聞こえないことは、三年前から言っている。上の方にマイクを付けばいいのではないか。 回答：担当課に確認する。 質問：太陽光発電のパネル設置での山林伐採による環境破壊・水害等行政の対応が必要ではないか。 回答：パネル設置による開発行為を取り締まる法的根拠が出来ていない。別の視点で対応策が取れないか思案中である。

	質問：高見橋地区の排水対策、内水面对策、議会の一般質問での市長答弁の検証はしているのか。 回答：議会では検証していない現状だ。 質問：議会改革ランキング1位の自治体は。 回答：北海道の芽室町。 質問：細島小学校の建て替え、現状の説明を。 回答：小学校単独での建て替えはない。他の公共施設との複合化で動いている。 質問：日向市のラスパイレス指数が高いのは何故か。 回答：旧東郷町との合併が影響しているのではないかと回答したが、正しくは、国との年齢構成等の違いが影響している。しかし、指数が高いことは事実であり、改善するよう市長へ求めている。 質問：議会報告会 地元の議員が入るべきではないか。 回答：議会全体の協議でこの様な構成になったが、今後は検討が必要かもしれない。 2 意見・要望 要望：農地等の利用推進が進んでいない。議会等で議論をし、勉強してもらいたい。 回答：農業の現状について議会で研鑽に努めたい。 要望：急傾斜地危険個所の現場視察の際には、地元の住民にも連絡してほしい。 3 その他
その他 特記事項	【班対応事項】 1、防災無線が聞こえない対策、上部へのスピーカ設置について。 担当課へ報告した。 2、急傾斜地危険個所の現場視察、地元の住民にも連絡してほしい。 担当課へ報告した。 【議会対応事項】 なし

平成 29 年 11 月 7 日

日向市議会議長 甲斐敏彦 様

第 2 班 班長 木田吉信  ㊞

議会報告会実施報告書

開催日時	平成 29 年 11 月 13 日 (月) 19 時 00 分 ～ 20 時 30 分
開催場所	寺迫公民館
出席議員	木田吉信、若杉盛二、富井寿一、柏田公和
参加市民数	6 人
実施内容	1. 開会 (司会：若杉盛二 議員) 2. あいさつ (班長：木田吉信 議員) 3. 開催地区区長代表あいさつ (高松区 坂本区長) 4. 議員自己紹介 5. 市議会報告 (富井寿一 議員) 6. 質疑、応答、意見交換 7. 閉会
質問 意見・要望等	1 質問 質問：南部地区のぷらっとバスは隅々までの運行は出来ないか。 回答：段階でぷらっとバスを隅々まで運行することは議論になっていない。 質問：美々津中学校の高台移転は出来ないのか。 回答：教育委員会からは、高台移転の話は聞いていない。 質問：南分遣署への救急車配備は早く出来ないのか。 回答：ようやく配備する方向性がついた。計画より早くならないか消防本部に繋ぎたい。消防車と救急車の乗り換え運用については勉強する。 質問：土砂崩壊危険区域に指定された時、税法上での恩恵等は無いか。 回答：所管課に確認する。 質問：公民館建設に伴う行政の支援、各種制度の助成金の活用について補助金の活用のノウハウは如何か。 回答：所管課に問い合わせ、確認して報告する。 質問：南分遣署の移転で、美々津支所を組み込んだ複合化は。 回答：公共施設マネジメントの中で議論され则认为している。 質問：光ケーブル・ワイワイテレビ放送も届かない現状の認識は。 回答：2 年前に調べた経緯があるので、再度確認する。民間の事業主への問い合わせが出来たら一緒に報告する。 質問：農業用地に法の網が被っていて、土地の有効活用が出来ないか。 回答：農地等の転用は、県の管轄。現状では変更は難しい。 2 意見・要望 要望：日向市の中心市街地は、整備されて良くなっているが、寺迫は合併しても良くなっていない。南部地域の振興に、もっと力を入れてほしい。

	3 その他
その他 特記事項	【班対応事項】 1、土砂崩壊危険区域に指定された時、税法上での恩恵等はないのか (対応済) 2、公民館建設に伴う行政の支援、各種制度の助成金の活用について (現在確認中) 3、光ケーブル・ワイワイテレビ放送も届かない現状の認識は (現在確認中) 【議会对応事項】 なし

平成 29 年 11 月 13 日

日向市議会議長 甲斐敏彦 様

第2班 班長 木田 吉信



議会報告会実施報告書

開催日時	平成 29 年 11 月 7 日 (火) 19 時 00 分 ～ 20 時 30 分
開催場所	細島公民館
出席議員	西村豪武、黒木金喜、森腰英信、谷口美春、畝原幸裕
参加市民数	21 人
実施内容	1. 開会 (司会：森腰英信 議員) 2. あいさつ (班長：西村豪武 議員) 3. 開催地区区長代表あいさつ (伊勢区 児玉区長) 4. 議員自己紹介 5. 市議会報告 (谷口美春 議員) 6. 質疑、応答、意見交換 7. 閉会
質問 意見・要望等	1 質問 質問 1：八坂区の急傾斜地が雑木、雑草が茂り、危険である。どこに相談すればよいのか。 回答：区長を通して、市民課 (市民相談室) へ要望する。 質問 2：細島小学校の学力レベルは如何ほどか。 回答：不明、資料がない。日向市は県平均のレベルを下回っている。 2 意見・要望 意見 1：南海トラフ巨大地震に対する防災計画はどうなっているのか。 (県の指針では、日向市が一番被害を受けるとあるが。) 回答：市は県の防災計画に沿って対応している。 意見 2：①細島地区の急傾斜地はどこか教えてほしい。 ②イオンの屋上に階段を設置し、避難所として指定できないのか。 ③細島小学校の複合化での建設はいつ頃になるのか、また、結論は出ているのか。 ④「みなとオアシス」の活用で細島商業港の振興や観光地として経済の発展を図ってほしい。 ⑤牧島山の避難道のソーラーを細島へ回してほしい。 ⑥避難所がどこにあるか分かりやすい目印等が必要だと思う。 ⑦細島支所は地区の端にあり、海拔も 1.7m しかなく避難所としても不向き、利便性の点からも誰もが集まり易い建物にすべきだ。大王谷コミュニティセンターは 100 人委員会が要望して出来たが、完成後は天下り職員の就業の場となっており、使いにくい。 ⑧細島支所をずっと設置するためには、細島の人だけでなく幅広い色々な

	住民が利活用出来るようにすべきだ。細島のことだけを考えていくのはよくない。 回答：①～⑧質問者に対し、状況説明等を図って対応した。 要望1：細島小学校の裏に平野町へ抜ける避難道路の造成や伊勢区避難場所あさひ公園にソーラー夜間照明、清正区お大師さん車回転場にもソーラー夜間照明、トイレ、水道施設、雨がしのげる四阿等設置して欲しい。細島地区全体の避難場所も状況調査してほしい。 回答：総合防災対策特別委員会に於いて、現状調査を実施する。 要望2：①細島地区御鉾が浦の風倒木(椎の木)の急傾斜地を議会で調査して欲しい。②清正区「かわせみ」の建物にはエレベーターがある。何らかの助成も必要だ、高齢者も多く、この施設を活用出来る様にして欲しい。 回答：総合防災対策特別委員会に於いて、風倒木の現地確認は実施する。 3 その他
その他 特記事項	要望1と要望2は「総合防災対策特別委員会において、現状調査を実施する。」と回答しているので、委員会調査後に報告を要す。

平成 29 年 11 月 7 日

日向市議会議長 甲斐敏彦 様

第3班 班長 西村 豪武



議会報告会実施報告書

開催日時	平成 29 年 11 月 13 日 (月) 19 時 00 分 ～ 20 時 20 分
開催場所	向江町公民館
出席議員	西村豪武、黒木金喜、谷口美春、森腰英信、畝原幸裕
参加市民数	15 人
実施内容	1. 開会 (司会：森腰英信 議員) 2. あいさつ (班長：西村豪武 議員) 3. 開催地区区長代表あいさつ (迎洋園区 岡田区長) 4. 議員自己紹介 5. 市議会報告 (谷口美春 議員) 6. 質疑、応答、意見交換 7. 閉会
質問 意見・要望等	1 質問 質問 1：日南市はよくメディアに登場している。市議会として企業誘致などへの取り組みを行っているのか。又、日向市の現状について。 回答：日向市では、市長や産業集積物流担当理事等による企業訪問・誘致活動に取り組んでいる。商工会議所やひむか Biz を中心に事業を進めている。議会独自には誘致活動は行っていないが、市長や関係機関と共に上京の際に議長等が企業訪問誘致に力を入れている。 質問 2：大型客船が油津港には入港し、日向（細島）には入港していない理由を市民が理解しているのか。 回答：港の大きさ、深水高等で入港できない場合がある。 質問 3：街中の道路（南町から上町）整備に時間が掛かり過ぎである。（20～30 年かかっている。） 回答：県道拡幅事業、区画整理等で道路拡幅整備中、予算的な問題もあり、時間がかかっている。 質問 4：少子化時代、福祉への予算が増加している。今後、国や県への予算の獲得に議会も力を注いでほしい。（予算のあり方も考えてほしい。） 回答：議会基本条例を制定しており、議員間で討議を十分重ねる。また、議員目線でしっかり活動して行く。 質問 5：花火大会へ市の予算を投入計上するのは如何なものか。税金ではなく寄付金だけで賄えないのかどうか。 回答：商工会議所を中心に実行委員会方式による約 850 万円位で花火大会は実施されている。市からの予算は 370 万円であり、他の同様の大会等へも予算がつけられている。

2 意見・要望

意見1: ①議会(本会議、委員会)がない時に議員は何をしているのか。

②市民からの要望や陳情があがってくる前に議会(議員)として調査、行動してほしい。担当課に要望しても予算がないとして対応してもらえない状況だ。

回答: 閉会中の審査や先進市の視察他、それぞれの立場で活動を行っている。

意見2: 市議会だより「陽だまり」のあり方について

回答: 一般質問に関しては一人600文字以内の原稿に限られている。若い世代でも見やすい形で掲載している。

意見3: 区長として花火大会実行委員会に携わり、感じたことは、こんなに日向市に若い人達がいるのかとびっくりした。若者が集まる機会の場づくりとして重要であり、市・消防・警察・海上保安庁、いろいろな人達の警備・救急体制の実践と連携の場づくりとしては重要である。

意見4: 区の未加入者への勧誘が大変である。特にマンションの入居者への対応が必要であり、アパート経営者への区加入する条例は出来ないか。育成会にも入らない父兄がいる、連絡先の電話も登録しない人もいる。学校の見守り等送り迎えは当たり前だとの考えや自分の子供は自分で育てる、街灯電気料は九電が出している感覚の人もいる。区に加入することよりも自分の生活が精一杯の状況である。(区加入促進運動に力を入れるべき。)

回答: 区加入促進にはごみ袋の有料化等の手法も(区が指定ゴミ袋の販売に携わり、ゴミ袋の購入は必ず班長宅で行い、区の財源にするとかの手法)区長会の方で提案するのもよいのではないか。大東建託では入居時に家賃の中に区費を組み込んでいる例もある。

意見5: 議会報告会に参加者が少ない理由をしっかりと反省し、今後取り組んでほしい。

意見6: この3班の議員は議会ですっかり質問を行っている。今後の課題として、①区の加入率アップ、②金のかからない施策を行う、③日南市だけではなく、日向市も独自の施策をしっかりと取り組んでいる。もっと議員には突っ込んだ質問をして欲しい。

意見7: 不動寺の踏切部分は大王谷への道路を渡ってすぐが信号であり、かなり危険である。駅の高架事業でこの踏み切りは対象になっていたが改良はできないのか。市は決断力がない、残念の一言だ。

要望1: 向江町地域の車道歩道の路面が悪い。高齢者も多く凸凹した市道県道への整備を行ってほしい。

回答: 年間の公共施設の維持管理に経費が掛かる為、建設部等では優先順位

	を付けた取り組みをしている。 3 その他
その他 特記事項	

平成 29 年 12 月 11 日

日向市議会議長 甲斐敏彦 様

第3班 班長 西村 豪武 

議会報告会実施報告書

開催日時	平成 29 年 11 月 17 日 (金) 19 時 00 分 ～ 20 時 30 分
開催場所	南日向公民館
出席議員	西村豪武、黒木金喜、森腰英信、谷口美春、畝原幸裕
参加市民数	18 人
実施内容	1. 開会 (司会：森腰英信 議員) 2. あいさつ (班長：西村豪武 議員) 3. 開催地区区長代表あいさつ (金ヶ浜区 釘宮区長) 4. 議員自己紹介 5. 市議会報告 (谷口美春 議員) 6. 質疑、応答、意見交換 7. 閉会
質問 意見・要望等	1 質問 質問 1：新体育館の建設など計画されているが、現在ある公共施設マネジメントの調査をしっかりとってほしい。 回答：公共施設マネジメントに関する調査特別委員会に於いて調査をしている。行政の数値目標は市保有の建物系施設は 30% の削減を目標としている。 質問 2：旭化成は延岡市へ 30 億円の寄付をするとある。日向市のウラン研究残品の保管などの何らかの関係を持っている。 回答：行政と議会ですっきり対応していく。 質問 3：二元代表制のもと、市議会の任務とは何か。 ①地域の代表としての存在と立場、②市そのものを今後、どのようにしていくのか。議会全体としての考え、その責務について。つまり、①、②の対立している点がある。これからは地域の要望を全て受け入れるのはダメであり、ダメなものはダメと言える議会が必要ではないのか。 回答：議会基本条例で示しているとおり、議員として行動している。機関議会として対応、活動している。 質問 4：市の現在の基金残は幾ら位あるのか。 回答：約 100 億円程度である。 質問 5：日向市内のいじめの状況について。 回答：重大な事案となるいじめはないが、軽微なものはあっている。 質問 6：子供の貧困の状況について、格差はあるのか。 回答：格差はあると認識している。市全体でサポートしている。社協中心に

	なってフードバンク事業を、また、民間ボランティアで子ども食堂が開設されている。 2 意見・要望 意見1：市長部局にイノシシ被害の調査の依頼をしているが、返答がない。 回答：担当課、職員へ連絡し、後日対応させる。(当局が対応済み) 意見2：平岩曙区は調整区域になっている。今後のビジョンはどうなっているのか。 回答：他にも多くの調整区域があり、今後の課題と認識している。 意見3：議会報告会のあり方について。 ①地元の議員を入れてほしい。 ②区長を通して要望してほしいとあるが、要望の仕方等新人区長の研修を行ってほしい。 ③行政視察の報告があるが、視察の内容、その後の取り組みについても報告してほしい。 回答：地元の議員は地区の課題等は理解しているので、機関議会で情報を共有するため、班編成ルールを設け(委員会構成等加味し)人選している。機関議会の報告会として、4班編成で実施している。また、毎年、行政視察の報告は各委員会毎に報告会を実施し、区長会等にも案内をしている。 要望1：お地藏さんへの取り付け道路の側面が崩壊し、石等が崩れてきている。金網で防御してほしい。 回答：区長を通して、市民課へ要望してほしい。総合防災対策特別委員会でも現場調査する。 要望2：市長との意見交換会で曙区の太陽光発電機の設置に関するチェック機能について、行政で専門員によるチェック体制の要望をしていたが、返答がない。 回答：市長部局へ伝える。 要望3：昨年の台風被害調査を行ってほしい。(鵜毛・粕木地区) 回答：防災推進課へ伝える。 3 その他
その他 特記事項	要望1の「総合防災対策特別委員会でも現場調査する。」と回答しているので、特別委員会調査後に報告を要す。

平成 29 年 11 月 17 日

日向市議会議長 甲斐敏彦 様

第3班 班長

西村 豪武  (印)

議会報告会実施報告書

開催日時	平成 29 年 11 月 7 日 (火) 19 時 00 分 ～ 20 時 30 分
開催場所	財光寺南まちづくり事務所
出席議員	近藤勝久、治田修司、日高和広、海野誓生、岩切 裕
参加市民数	7 人
実施内容	1. 開会 (司会：岩切裕 議員) 2. あいさつ (班長：近藤勝久 議員) 3. 開催地区区長代表あいさつ (切島山 1 区 栞原区長) 4. 議員自己紹介 5. 市議会報告 (各委員会所属議員) 6. 質疑、応答、意見交換 7. 閉会
質問 意見・要望等	1 質問 質問：少子高齢化にともなう廃校に対する考え方を知りたい。 回答：公共施設マネジメントの中で、施設の統廃合について検討している。 2 意見・要望 意見：議会だよりについて一般質問を議員がした後、その後の経緯について掲載するべきではないか。また、ページ数が足りなければ予算を増やせばいいのではないか。 回答：議会広報特別委員会で検討していく。 要望：視察先の選定は行政がすべきではないか。 回答：各委員会で議論し先進自治体を選定している。 要望：急傾斜地に関する議会の意見はないか。 回答：財政的な問題もあり 1 年に 1 ～ 2 箇所の整備状況になっている。 意見：報告会は地元議員を出席させるべきではないか。 要望：講演会については外部に頼むのではなく地元の人材を活用してはどうか。 意見：市職員の移動が 3 年は早すぎるのではないか。 回答：市民の多様化するニーズに対応するため、職員の専門性を高めることについて一般質問を行なっている。 要望：「へべす」の宣伝が足りないのではないか。 回答：ブランド推進課にて都市部でも情報発信を行っている。 要望：キャリア教育センターの取り組みはもっと充実させるべきではないか。 要望：投票率をアップさせるための取り組みを行政・議会ともにもっと取り

	組むべきではないか。 3 その他
その他 特記事項	

平成 29 年 11 月 7 日

日向市議会議長 甲斐敏彦 様

第 4 班 班長 近藤勝久



議会報告会実施報告書

開催日時	平成 29 年 11 月 8 日 (水) 19 時 00 分 ～ 20 時 20 分
開催場所	日知屋公民館
出席議員	近藤勝久、治田修司、日高和広、海野誓生
参加市民数	9 人
実施内容	1. 開会 (司会：日高和広 議員) 2. あいさつ (班長：近藤勝久 議員) 3. 開催地区区長代表あいさつ (江良区 三浦区長) 4. 議員自己紹介 5. 市議会報告 (各委員会所属議員) 6. 質疑、応答、意見交換 7. 閉会
質問 意見・要望等	1 質問 質問：昨年議会報告会で、幡浦地区の市街化調整区域の見直しを要望していたが、どうなっているのか。 回答：関係部局へ伝える。 質問：櫛の山市営住宅の耐震性については、南海トラフ地震の時に大丈夫なのか。 回答：耐震性については問題ない。 質問：馬ヶ背の売店から、馬ヶ背までの区間が木々によって茂っている。その茂っている区間を抜け出ると「ぱっ」と開けるといふこともあるがどうにかならないのか。 回答：日豊海岸国定公園内であり、樹木の伐採制限がある。関係部局へ伝える。 2 意見・要望 要望：富島高校が来年の選抜甲子園大会に出場が濃厚になっているが、サーフィンだけに力を入れるのではなく、野球の方にも力を入れるべきではないか。 要望：地震津波対策だけではなく、地球温暖化による台風の大型化、局地的な豪雨による災害にも対応すべきではないか。急傾斜対策を議会として提案すべきではないか。 回答：総合防災対策特別委員会で対応していく。 要望：公園通りの裏山の以前に整備した急傾斜地崩壊対策事業による整備箇所が、基準の変更によって整備されるのか。 回答：関係部局へ伝える。 意見：もともと、日知屋小学校区内であったものが、日知屋東小学校、大王谷小学校に分かれており、学校区の問題は、日知屋本郷地区のまちづくりの面から見直すべきである。教育委員会は、地元の総意が必要とのこと

	であるが、行政主導で行わなければ同意は得られないのではないか。スピード感をもって対応して欲しい。 回答：文教福祉環境常任委員会は、12月定例会中、この件について所管事務調査報告を行った。 意見：4回目を迎える議会報告会であるが、区長としても呼びかけているが、参加者が少ない。昨年も提案したが、「議会報告会」の名称を変えるべきではないか。また、地元の議員を参加させるべきである。 3 その他
その他 特記事項	要返答事項 1. 幡浦地区の市街化調整区域の見直しについて。 2. 櫛の山市営住宅の耐震性について。 3. 日向岬の樹木伐採について。(一部対応済み) 4. 公園通り裏山の急傾斜地崩壊対策事業について。

平成 29 年 11 月 9 日

日向市議会議員 甲斐敏彦 様

第 4 班 班長 近藤勝久



議会報告会実施報告書

開催日時	平成 29 年 11 月 24 日（金） 19 時 00 分 ～ 20 時 20 分
開催場所	幸協公民館
出席議員	近藤勝久、治田修司、日高和広、海野誓生、岩切 裕
参加市民数	13 人
実施内容	1. 開会（司会：海野誓生 議員、日高和広 議員） 2. あいさつ（班長：近藤勝久 議員） 3. 開催地区区長代表あいさつ（幸協区 甲斐区長） 4. 議員自己紹介 5. 市議会報告（各委員会所属議員） 6. 質疑、応答、意見交換 7. 閉会
質問 意見・要望等	1 質問 質問：初めの議会報告の中で、ぶらっとバスの休日運行の話があった。もう少し詳しく聞きたい。ぜひ休日も運行して欲しい。 回答：休日運行は、以前からの懸案で、今議会に、来年 1 月から 3 月まで休日に試験運行する予算が計上された。その結果で来年度以降の休日運行の是非を検討するので、ぜひ、利用して欲しい。地域住民への試行の周知を当局に求めたい。 2 意見・要望 要望：巨大地震対策に、自助の啓発を。南海トラフ巨大地震の発生が、かなりの確率で予測されている。避難施設の整備は進んでいるが、市民の関心が薄い。大災害時、自分の命は自分で守るという自助の覚悟が大切だ。行政は、そのことを市民に啓発し、自覚を求めるべく対応して欲しい。 要望：健診の受診率向上を。健康検診の受診率が低い。低いと医療費が上がる。市民が受診しやすいよう、健診の分散開催など受診機会の多様化を図り、受診率向上に努める必要があるのではないか。 要望：漁業への支援を。幸協は立網やバッチ網など漁業者がいる。美々津の元処理場から上の海岸で瀬がなくなって、水揚げがない。魚礁を入れるなど漁場整備を行って欲しい。 回答：所管課へ取り次ぐ。（「今まで、漁協なり地区として、行政に要望したことはあるか」という議員の問いに「ない」とのこと。「普通の人は、要望書を書くなどは苦手だ」と。） 要望：急傾斜地対策を。飯谷地区の急傾斜地対応。家の裏に大きな石が係った状態で生活している。上水道は 12 月に、全戸ではないがほとんど整備が進み、感謝している。旧東郷地区では急傾斜地の整備が進んでいるがこちらでは進んでいない。今年 9 月に陳情書を出した。対応して欲しい。 要望：地域包括ケア、在宅医療の充実を。門川では 24 時間、医師と看護師、介護士が連携して支援する在宅医療の体制が整っている。地域で介護をや

	れと言っても、安心できる支援がないと担えない。在宅医療体制の整備、充実が大切だ。 回答：在宅医療中心の地域包括ケアの重要性については、行政も医師会も基本的に認識しており、研修会を開くなど充実に向け継続的な努力をしている。 要望：田の原小学校で市の業務をできないか。公共施設の有効活用という面で、田の原小学校を使って、何か市の仕事ができないだろうか。分校の立派な校舎が、今後どうなるのか、みんな固唾をのんで見守っている。 回答：幸脇小は廃校で、田の原分校は「休校」である。現状では目的外の使用はできないようになっている。 要望：100歳体操の定着に向けた取り組みを。最初は、地域包括から職員が来て指導してくれるが、一ヶ月ほどすると、後は自分たちでやりなさいと、来なくなる。今は、何とか続けている。他地区では、できなくなったところもあり、理由を聞くと、年寄りばかりで億劫になって出かけなくなるらしい。高齢者ばかりで、リーダー的に動ける人がいない。定着を図るために、保健師をリタイアした人などを指導者として起用するなど、何らかの支援はできないか。議員、職員で担える人がいないか。 回答：地域包括支援センターは多忙をきわめ、十分な対応ができていない現状である。 要望：南部地区にも非常食の保存倉庫を。南海トラフ巨大地震の発生が言われている。公民館は海拔36mある。しかし、南部地区には非常食の保存がない。南部地区にも非常食の保存倉庫を整備してもらいたい。 回答：本市の防災対策は、今はまだ、避難困難地域に1次避難場所を設けることで死亡者をゼロにすることに取り組んでおり、2次避難場所要望の充実、その後の対応となる。しかし、南部地域への非常食の備蓄は重要なので、防災推進課に取り次ぐ。 意見：選挙の投票率を上げる取り組みを。議会改革の報告があったが、それに関連して。高千穂町は、選挙の投票日が平日だ。投票率を上げるためだと思う。日向では、議論がないのだろうか。 回答：期日前投票が増えている現状、場所を増やしたら良いではないかという提案等、また市民に関心を持ってもらえるための議会改革の概要を説明。 要望：投票用紙の裏に、期日前投票の理由を書けるようにして欲しい。延岡では投票はがきの裏に理由を書けるようになっている。日向ではそれはできないのか。投票率を上げるための様々な取り組みが必要だと思う。 3 その他
その他 特記事項	要返答事項 1. 魚礁を入れるなど漁場整備について。 2. 南部地区の非常食保存倉庫について。

平成29年12月7日

日向市議会議長 甲斐敏彦 様

第4班 班長 近藤勝久

